

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成28年5月18日（水）19：00～20：54		
会場	プラザ萬象	来場者数	76人
役割分担	司会進行 米澤光治		
	報告 （議会の役割、しくみ） 福谷正人 （前年度議会報告会で寄せられた意見について） 福谷正人 （総務民生） 堀居哲郎 （産経建設） 浅野好一 （文教厚生） 馬淵清和		
<p>1. 報告に関する質疑応答及び意見</p> <p>（1）議会の役割、しくみ 報告のみ</p> <p>（2）前年度議会報告会で寄せられた意見について 報告のみ</p> <p>（3）総務民生常任委員会の報告</p> <p>Q1. 主な意見の中で、相談件数も増加する中で相談員は非常に役に立っているとのことだが、相談をした側の評価は受けているのか。</p> <p>A1. 市民の方の相談により、その後の生活支援に役に立ったと全部ではないが聞いており、非常に役立っていると考えている。</p> <p>Q2. 400件の相談の中では相談の回答に対して不満を持った方はいないのか。</p> <p>A2. 近年の相談内容は多岐にわたっており、債務問題とか生活に密着した相談内容で全てが解決するわけではないが、消費者センターだけではなく、福祉部門、税金部門等と連携しワンストップ化による支援が受けられている。何度も受けられる方、また、別の部門で受けられる方がおり、センターで全てが解決するわけではないが、相談員も慣れてきており、市民にとっては役に立つセンターとなってきた。</p> <p>（4）産経建設常任委員会の報告</p> <p>Q1. 大河ドラマ「真田丸」連携事業費について、観光客に大谷吉継ゆかりのお寺などで精進料理の提供でおもてなしできないか。</p> <p>A1. 御提案は担当課に伝える。「真田丸」をうまくまちづくりに活かしていくことが肝要。</p> <p>Q2. 人道の港敦賀事業費について八百津町、高山市、金沢市に至る杉原千畝観光ルート以外にも神戸市、愛知県がユダヤ難民を世界に送り出した検証を始めている。敦賀もユダヤ難民上陸のオンリーワンにあぐらをかいていると足元をすく</p>			

われる。他市との連携は。

- A 2. 予算中にビジットジャパン地方連携事業負担金があるが、これは杉原千畝に係る他市町と連携を進める観光庁の事業で、誘客増加につなげると聞いている。
- Q 3. ムゼウムで外国の方が記入したアンケートを訳して冊子にしてほしい。ユダヤ難民の上陸地点のプレートを活用すべき。欧亜国際連絡船に乗船し歌を詠んだ与謝野晶子の句碑を建てるべき。
- A 3. 御提案は担当課に伝える。
- Q 4. 人道の港事業にストーリー性を持たせるべき。当時の大陸との連絡船の再現や当時の敦賀のおいしい水等を再現しても面白いのでは。
- A 4. 敦賀市が持つ金ヶ崎周辺整備構想「敦賀ノスタルジアム」に反映されるべき御提案と受け止め、敦賀市に伝える。
- Q 5. 姉妹都市等観光物産展開催事業費について、他市との交流は考えないのかとの議員側の問いに対して、市側の明確な回答はなかったようだがどうか。あわせて敦賀観光物産フェアが中止になったようだが、誘客数等どう検証され、また、その結果アル・プラザでの姉妹都市等観光物産展開催に至ったのか。産経建設常任委員会で全会一致可決に至った経緯は。
- A 5. 姉妹都市等だけの交流が目的での物産展の開催かとの質疑であったが、買い物客も含め近隣市町とも交流を続けていく、との答弁だった。委員会の中でも敦賀観光物産フェアを取りやめた経緯についての異論は多かったのは事実。その中で本年度は一旦休止し、一年をかけ民間の力をもっと利用した物産展を模索する方向との理事者答弁があった。あわせて、かわりの姉妹都市等観光展開催もアル・プラザだけではなく他の事業ともタイアップして開催を検討するとの答弁も委員会で得たので、全会一致での可決になったと考える。
- Q 6. 金ヶ崎周辺に観光案内所、トイレを設置すべき。
- A 6. 観光案内所は金ヶ崎周辺整備構想の中で進めていかななくてはならない。トイレはムゼウム、鉄道資料館にもある。

(5) 文教厚生常任委員会の報告
質疑応答、意見はなかった。

2. 意見交換

(1) 金ヶ崎周辺の観光について

- Q 1. 人道の港にあぐらをかいてはダメだ。人道の港や赤レンガ倉庫ばかりに力を入れるのではなく、鉄道にも力を入れるべきである。
- A 1. 金ヶ崎周辺整備構想フェーズ3の完成までには20年かかるが、構想には鉄道

の活用、港の活用もあるので新幹線開業には間に合わせるよう提言していきたい。

Q 2. 金ヶ崎緑地周辺だけで敦賀のまちづくりを考えてもダメだ。本町通りを含め、町全体を考えてつないでいくべきである。新幹線の開業までにどのようにそれぞれのエリアをつないでいくのか。真田丸にしても予算化が遅い、ドラマが終わった頃に事業を始めてもダメだ。スピード感がないと感じる。

A 2. 「市のアクションにスピード感がない」のは議会も同じ認識である。駅から金ヶ崎緑地までどうやって周遊できるようにするのかよく検討していく。

Q 3. 金ヶ崎緑地から金崎宮までの周遊ルートの現在の状況がよくない。コンテナなど移動できないのか。金崎宮までの道の桜の木も弱っているし土砂崩れなど大丈夫か。

A 3. 貴重な意見として承る。

(2) 市議会、市政への意見

Q 1. 議会として市長の評価はどうか。ニュースレターは議員として出した方がよい。議員としてどのように考えているのか。議員定数についてどう考えているのか。

A 1. 市長の評価については、議員それぞれ考えが違うため答えることができない。会派がニュースレターを発行しているため、今後会派単位で考えていくと思う。議員定数は人口規模で考えるのではなく、原子力など敦賀市の事情に合わせて定数を定めるべきと考えている。

Q 2. 身体障害者4級は今年の8月から全額負担をしなければならない。障がいがあることで、収入が少ない方がいるため、収入に合わせて半額負担などの免除措置はできないか。

A 2. そもそも、国、県の補助制度は3級までしかなく、これまでは敦賀市だけ手厚くしていたが他市と同一とした。今後は生活保護制度もあるので、一度市役所の窓口で相談してみてもどうか。

Q 3. 議員が行政と民間との仲介役になってほしい。そして行政と民間とのパートナーシップをさらに深めてほしい。市民の中に入り行政とのかけ橋になるべきである。

A 3. 議員も半分が民間出身なので民間の感覚を持って議員活動に取り組む。もちろん、行政とのかけ橋になるという気持ちは持って取り組む。

Q 4. 市民公開講座で財政の勉強会をした。勉強会で参加者からいただいた感想を聞いてほしい。以下のような感想があった。

- ・施設の統廃合など施設のあり方については市民全員で考えるべきだと認識を深めた。
- ・一番多くの関心があった議員定数の削減も考えるべき。

- ・市民が敦賀のまちづくりをもっと自覚するべき。
- ・基金の取り崩しなど財政の危機を感じた。

A 4. 聞かせていただいた感想を心にとめて議員活動をしていく。

Q 5. 地区の要望についてはどのようにすればよいか。他の地区はどのように要望を市に出しているのか。

A 5. いろんな要望の出し方がある。直接、行政に要望を出す場合もある。議員を通して要望を出してもよい。市議会事務局には議員の連絡先もある。

3. 反省点など

(1) 総務民生常任委員会

- ・どうしても説明者と一部の回答者が中心となりやすい傾向にある。
- ・説明により各常任委員会の交代があり煩雑になりやすい。
- ・説明者のレーザーポイントの指示がわかりづらい。
- ・会場が大きいせいか、質問者との距離感がある。

(2) 産経建設常任委員会

- ・3常任委員会の報告のうち、産経建設常任委員会に質問が集中した。内容が観光予算ということで市民としても興味が大きかったのだろうが、多くの提案をいただいても結局は理事者に伝えるとの回答しかできず、受け取った市民の皆様はさぞ不満だろうと感じた。
- ・つるが観光物産展休止、かわりに姉妹都市等物産展開催という案件については委員会でもかなり強い不満の意見が出たが、結果的に全会一致で可決したものである。これについての議会報告会での質疑は痛いところをつかれたと感じる。委員会の理事者とのやり取りの内容を説明したつもりだが、うまく伝わったのか疑問は残った。
- ・しかしながら委員会全員で報告ができたものと感じている。

(3) 文教厚生常任委員会

- ・常任委員会の報告については、説明が丁寧にできたためか会場から質疑が出なかった。最後のその他の御意見で、身体障害者4級の医療費扶助についての質疑が出された。関心が高い方も多く、常任委員会の報告に取り上げてもよかったのではないかと思う。

(4) 広報広聴委員会

- ・前向きな意見を多くいただいた。いただいた意見を可視化してその場での意見集約を最後にできればもっとよくなると感じた。
- ・発言する議員が限られていた。全員は難しいと思うが、できるだけ多くの議員が発言できる機会をつくったほうが良いと思う。
- ・テーマを設けた意見交換は、市民にすごく興味を持ってもらえていると思う。敦賀市議会としてよい取り組みだと改めて感じた。

4. アンケート

アンケートで寄せられた意見については、別添のとおり。

以上

敦賀市議会議長 有馬茂人 殿

平成28年6月30日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 米澤 光治